

平成22年度予算は
市民一人当たり※
62万7,236円
国保などの特別会計等を含めて算出しています
 ※53,139人(2月末日現在)で計算しています

平成22年度 南島原市の当初予算

一般会計 223億円 (前年比50億円減)

特別会計について

医療・福祉関係の予算(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療など)や下水道事業および簡易水道事業など、市民生活に欠かせない予算は、原則、年間の所要見込額を計上します。

■ 特別会計
107億5,271万6千円
 (増減率 ▲5.3%)

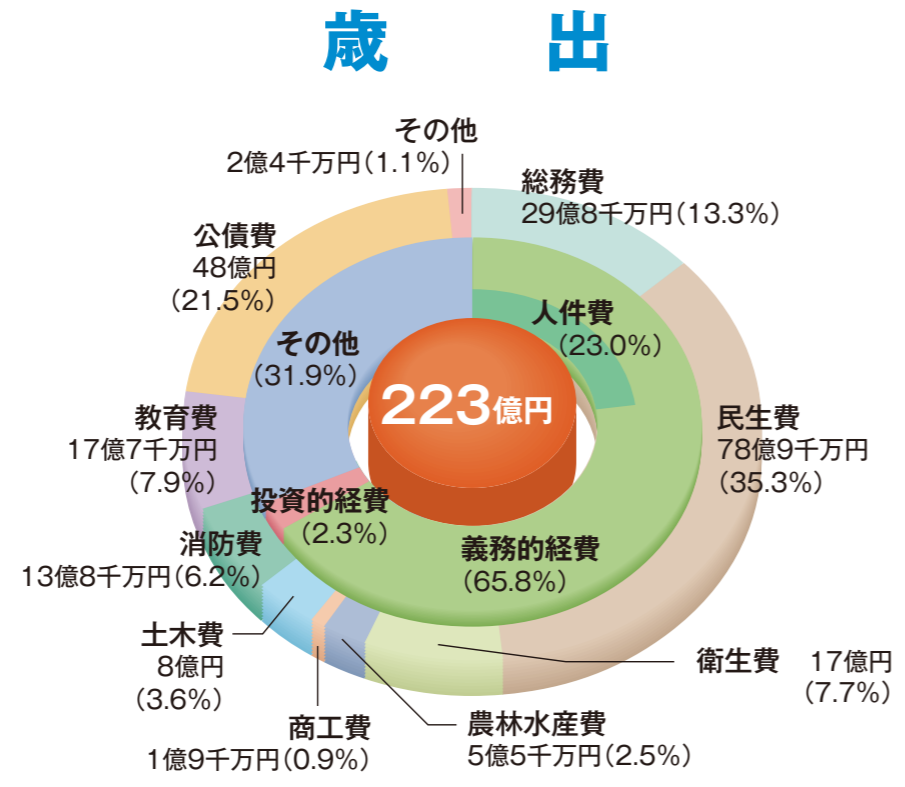
- (内 訳)
- 国民健康保険事業特別会計 88億6,297万9千円(増減率 ▲0.3%)
 - 老人保健事業特別会計 134万2千円(増減率 ▲90.1%)
 - 簡易水道事業特別会計 8億2,148万7千円(増減率 ▲17.1%)
 - 下水道事業特別会計 4億8,073万1千円(増減率 ▲46.5%)
 - 後期高齢者医療事業特別会計 5億8,617万6千円(増減率 4.0%)
 - 宅地開発事業特別会計 1千円(増減率 0.0%)

■ 水道事業会計
2億239万2千円
 (増減率 ▲11.7%)

用語の説明

特別会計
 特定の事業を行うために特定の収入をその支出に充てるため、経理を独立して設ける会計

水道事業会計
 水道事業から得られる収入で浄水や給水などの費用を扱う独立採算制の企業会計

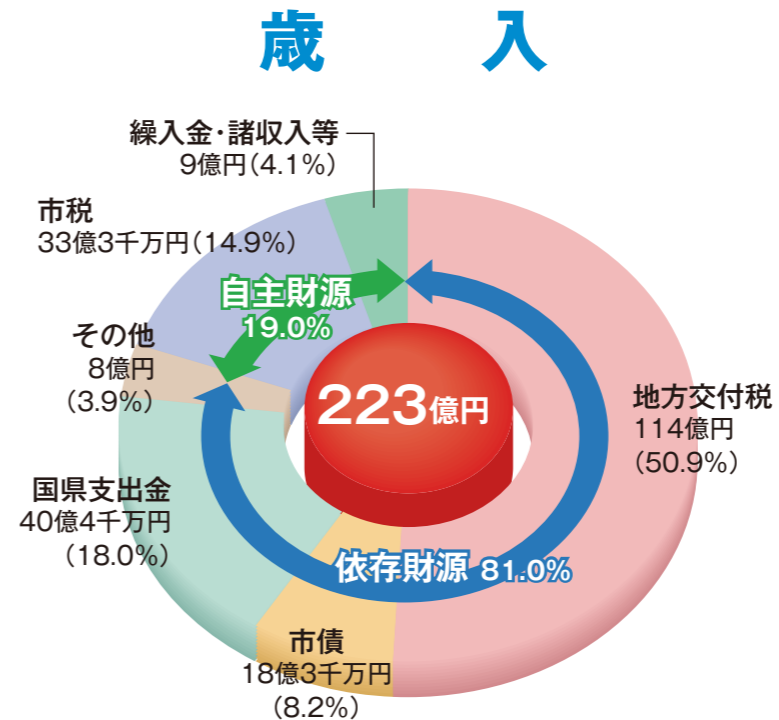


義務的経費 職員の給与や借金の返済など、その支出が義務づけられているお金

投資的経費 道路や施設のように、将来に形を残すものに使うお金

用語の説明

総務費	…… 税務、戸籍、選挙事務など
民生費	…… 赤ちゃんからお年寄りまでの福祉、障害者福祉や生活保護など
衛生費	…… 各種健康診断などや、ごみに関することなど
農林水産費	…… 農林水産振興、ほ場整備や漁港整備などの基盤整備
商工費	…… 商工振興、観光振興など
土木費	…… 道路や公園、公営住宅の整備など
消防費	…… 火災、救急、風水害などの事業に関することなど
教育費	…… 幼稚園や小中学校教育に関すること、生涯学習やスポーツ振興など
公債費	…… 市の借入金の返済
その他	…… 議会費など



自主財源 市が独自で確保できるお金

依存財源 国が集めて配分するお金や、借り入れで確保するお金

用語の説明

市税	…… 市民税、固定資産税、軽自動車税など
線入金・諸収入等	…… 線入金、使用料、分担金および負担金、諸収入、財産収入、寄付金、繰越金
地方交付税	…… 地方自治体が全国水準の行政を行えるように交付されるもの
市債	…… 国・県や金融機関から借り入れる借金
国県支出金	…… 国・県が認める事業費に対し、国・県から交付されるもの
その他	…… 地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金、地方特例交付金、利子割交付金、配当割交付金など

当初予算編成の基本的な考え方

平成22年度の一般会計当初予算の総額は223億7,556万5千円で、平成21年度の当初予算と比較すると49億9,001万7千円(18.2%)の減となっています。

本来、予算はその年度のすべての歳入、歳出で編成されるものですが、平成22年度は、4月に市長・市議会議員選挙が行われることから、人件費や扶助費、公債費などの義務的な経費や、国県などの制度的な経費、継続的な事業に係る経常的な経費を中心に計上した骨格予算として編成しています。

骨格予算で計上した経費については、「カイゼンピック^{※1}」による職員提案の予算への反映、「ゼロ予算事業^{※2}」の積極的な推進、人件費の抑制および徹底した事務事業の見直しを行うとともに、経費の削減に引き続き取り組みました。

新規、拡充する事業や道路、施設など将来に形を残す投資的な経費などの政策的な経費は、「肉付け予算」として5月の新市長就任後、速やかに編成し、行政サービスの低下を招くことがないように十分留意することとしています。

※1 「カイゼンピック」
 業務改善などの提案を職員から応募し、優秀な提案を市行政全体で取り組んでいく事業。
 ※2 「ゼロ予算事業」
 予算を伴わない事業のこと。市民と職員が一体となって市民協働などで実施する事業。



勉強をいっしょにがんばります。そしてみんなの行く道つくりを始めてみます。
 テーマ「今年度、私はこれ始める！」 南島原市立大野本場小学校 4年 名前 山中 すぐ

私は漢字や計算などいろいろな勉強ができるようになるために毎日たくさん勉強をがんばります。
 テーマ「今年度、私はこれ始める！」 南島原市立大野本場小学校 4年 名前 榎本 紗紀

